

東京外国為替市場委員会 第 155 回会合 議事録

開催日時	2012 年 9 月 25 日 13 : 00～14 : 45
場 所	日本銀行本店 新館 9 階中会議室 A
議 長	星野 昭
副 議 長	中野 北斗
副 議 長	梨本 忠彦
書 記	齋藤 克仁
出席委員	21 名

I. オブザーバーの交代について

星野議長より、財務省の飯塚氏が、木原氏の後任としてオブザーバーとなることが報告されました。

II. 小委員会報告

1. 運営小委員会

塚田委員長より、前回の本委員会以降の各種小委員会の取り組みの概要について、報告がありました。また、①BIS 外為・デリバティブ・サーベイの進捗状況や、②外為市場の規制・監督に関連して、バーゼル銀行監督委員会（BCBS）等が公表している市中協議文書（「清算集中されないデリバティブ取引に係る証拠金規制」、「外為取引の決済に関連するリスクを管理するための監督上の指針」）に対する全国銀行協会の対応状況について、説明がありました。

2. BCP 小委員会

星野議長より、9 月 11 日に小委員会を開催し、次回の BCP 訓練で想定する被災シナリオについて、議論を行ったとの報告がありました。星野氏からは、過去の訓練では、3 市場合同の被災シナリオを想定していたが、次回の訓練では、外為市場特有のシナリオ（具体的には、仲値の公表に支障が生じるシナリオ）を別途想定したうえで、訓練を実施することを検討しているとの説明がありました。

3. E コマース小委員会

高木委員長より、8 月 29 日に小委員会を開催し、オレンジブックにおける電子取引の記述内容の見直し案を作成したとの報告がありました。高木氏からは、見直し案の内容は、9 月 20 日の Code of Conduct 小委員会の場でも概ね共有されたとの説明がありました。

4. Code of Conduct 小委員会

塚田委員より、9月20日の小委員会の中で、オレンジブックにおける電子取引の記述内容の見直し案（E コマース小委員会の作成分）について議論したとの報告がありました。また、今回の Code of Conduct の改訂作業において、どの程度のレベルで改訂を行うべきかという点については、E コマース小委員会が作成した見直し案をひとつの基準として、他の分野の作業を進めていく方針であるとの説明がありました。

5. 市場調査小委員会

筒井準委員より、8月22日の小委員会の中で、金融先物取引業協会の松井氏から、外為証拠金取引に関するカバー取引の動向の調査結果に関して、説明を受けたとの報告がありました。

また、筒井氏からは、次回の外為取引高サーベイ（2012年10月調査分）についての説明があり、次回サーベイでは、①取引相手先の分類を拡充して、4分類とすること、②通貨ペアとして、人民元/円取引を新たに追加することが報告されました。次回サーベイのスケジュールについては、井出準委員より説明があり、今月末を目処に、サーベイの依頼状等を調査先に対して送付し、11月末までの回答を依頼したうえで、来年1月下旬から2月上旬を目処に、サーベイの結果を対外公表する予定であるとの説明がありました。

III. BIS 外為・デリバティブ・サーベイについて

井出準委員より、次回（2013年）の BIS 外為・デリバティブ・サーベイの概要について、報告がありました。具体的には、次回のサーベイでは、外為市場における近年の取引動向の変化をより詳細に把握する目的から、調査項目が増加しており、①取引相手先に係る調査項目の拡充、②取引方法の分類の明確化・拡充、③報告対象通貨の拡充、④調査対象となる取引の種類等の拡充等が図られているとの説明がありました。また、調査項目の変更が多岐に亘っていることを踏まえ、調査先となる金融機関を対象として、11月1日に説明会を開催する予定であるとの説明がありました。

IV. 外為市場の規制に関する市中協議文書への対応について

森準委員より、「清算集中されないデリバティブ取引に係る証拠金規制」に関しては、バーゼル銀行監督委員会（BCBS）と証券監督者国際機構（IOSCO）から市中協議文書が7月上旬に公表されているが、全国銀行協会では、BCBS と IOSCO に対して、9月28日まで意見書を提出する予定であるとの報告がありました。また、BCBS が8月中旬に公表した「外為取引の決済に関連するリスクを管理するための監督上の指針」に関する市中協議文書については、全国銀行協会が意見書の提出に向けて、金融機関からのコメントを集約している段階であるとの報告がありました。

V. CLS 銀行の CEO との意見交換会について

星野議長より、CLS 銀行の CEO から、東京外為市場の主要金融機関と意見交換を行いた

いとの打診があったことを受け、同 CEO の来日に合わせて、東京外為市場委の委員との意見交換会を 11 月 1 日に開催予定であるとの報告がありました。

VI. 外為証拠金取引に関するカバー取引の動向の調査結果について

今回の本委員会では、金融先物取引業協会の松井氏を招待し、外為証拠金取引に関するカバー取引の動向の調査結果について、説明を依頼しました。松井氏からは、本年 4 月の外為証拠金取引のカバー金額やカバー先の属性等について、昨年との比較を交えながら詳細な説明があり、その後、各委員との間で活発な質疑応答が行われました。

以 上

(別紙)

東京外国為替市場委員会委員名簿 (9月25日現在)

<委員>

議長	○星野 昭	(三菱東京 UFJ 銀行)
副議長・市場調査小委員長	○中野 北斗	(みずほコーポレート銀行)
副議長	○梨本 忠彦	(パークレイズ銀行)
書記	○齋藤 克仁	(日本銀行)
運営小委員長	○塚田 常雅	(三菱 UFJ 信託銀行)
広報小委員長	○大木 一寛	(EBS ディーリングリソースジャパン)
教育／Code of Conduct 小委員長	好川 弘一	(クレディスイス証券)
法律問題小委員長	○今西 晋嗣	(三井住友信託銀行)
オペレーション小委員長	○福島 亮一	(みずほ銀行)
E コマース小委員長	○高木 晴久	(三井住友銀行)
NDF 慣行整備小委員長	○廣田 泰司	(JP モルガン・チェース銀行)
	○宗川 雄視	(ロイター・ジャパン)
	○石川 昌信	(トキョウフレックス上田ハーロー)
	○大西 知生	(ドイツ証券)
	岩田 智宏	(ゴールドマン・サックス証券)
	○大柿 敦郎	(野村證券)
	○花生 浩介	(香港上海銀行)
	○Joseph A. Kraft Jr.	(バンク・オブ・アメリカ)

<準委員>

○伊藤 祐介	(マネー・ブローカーズ・アソシエーション)
○筒井 慎一	(みずほコーポレート銀行)
○森 直樹	(三菱東京 UFJ 銀行)
○井出 穰治	(日本銀行)

<オブザーバー>

○飯塚 正明	(財務省)
--------	-------

(注) 敬称略 (順不同)。○は今回出席。